

主な出来事

【内政】

- ボンゴ大統領とモハメッド６世モロッコ国王の会談
- マガンガ・ムサヴ副大統領らによるボンゴ大統領訪問
- ボンゴ大統領、ラバトの軍事病院を退院し、王室の公邸での静養の継続
- 憲法裁判所による国民議会選挙の不服申し立てに伴う審査の終了
- ジャン・ピン氏による演説及び同支持者によるデモ
- 国民議会選挙最終結果の発表

【経済】

- アフリカ開発銀行、国立デジタルインフラ・周波数庁へ約４．５６億セーファ供与
- ガボン政府の累積債務が５兆セーファに近づく
- IMF融資第３期支払い（９，９００万ドルの融資）の承認

【内政】

１ ボンゴ大統領とモハメッド６世モロッコ国王の会談

３日、モハメッド６世国王は、ボンゴ大統領を友好訪問した。ボンゴ大統領は、モハメッド６世国王に対し、ラバト到着以降の自身への温かい歓待及びモハメッド６世国王による配慮に感謝の意を述べた。（大統領府コミュニケ、４日付UN）

２ マガンガ・ムサヴ副大統領らによるボンゴ大統領訪問

４日、マガンガ・ムサヴ副大統領、イソゼ首相及びンボランツォ憲法裁判所長官の３名がモロッコのラバトで静養を続けるボンゴ大統領を訪問した。彼らはボンゴ大統領の容態を確かめるとともに、ボンゴ大統領にガボンの国家機関が正常に機能している旨伝えた。（５日付UN）

３ ボンゴ大統領、ラバトの軍事病院を退院し、王室の私邸での静養の継続

４日夜、ボンゴ大統領はラバトにある軍事病院を退院し、モハメッド６世モロッコ国王が用意したラバトの王室の私邸の一つで静養を続けることとなった。（６日付 LA LETTRE DU CONTINENT）

４ 野党新たな共和国のための連合（CNR）による憲法裁判所の決定等に対する批判

５日、CNRはTGVと呼ばれる世論喚起運動の一環として記者会見を開催し、客年１１月の憲法裁判所による憲法改正等を批判した。また、CNRは憲法擁護のための活動を継続していくと発言した。（６日付UN及びGMT）

５ 野党国民連合（UN）、ボンゴ大統領の静養等を批判するコミュニケを発表

５日、UNは、ボンゴ大統領が引続き大統領の重責を担えるだけの身体的、精神的能力があるのか、４日のンボランツォ憲法裁判所長官による大統領訪問を三権分立原則の重大

違反である等と主張するコミュニケを発表した。(5日付GMT, 7日付UN)

6 マガンガ・ムサヴ副大統領によるボンゴ大統領の病気に関する発言

7日, マガンガ・ムサヴ副大統領は, フランスビルにおいてボンゴ大統領の病気が脳卒中であると認め, ボンゴ大統領は, 引き続き静養先のラバトにおいて大統領としての職務を務める旨言及した。(8日付GMT, 9日付AFP)

7 憲法裁判所による国民議会選挙の不服申し立てに伴う審査の終了

15日, 憲法裁判所は, 10月に実施された国民議会選挙の不服申し立て審査を終了し, 8議席の選挙結果を取り消した。

8 ジャン・ピン氏による演説及び同支持者によるデモ

15日, ジャン・ピン氏が自身の支持者に対して, 「我々はあらゆる外交的手段を使い果たした。協議が妨げられているときには, 対立しか道はない。今がその時だ」と, 現政権への闘争を呼びかける演説をリーブルビルで行い, それに呼応する形で支持者によるデモが実施された。これに対し, マパング通信大臣兼政府報道官はジャン・ピン氏に対し, 街頭での暴力や闘争を呼びかけるべきでないと改めて主張した(17日・19日付UN)

9 国民議会選挙最終結果の発表

27日夜, ンボランツォ憲法裁判所長官は国民議会選挙の最終結果を発表した。不服申し立てに伴う審査の結果9議席の選挙結果が取り消され, 残る134議席が確定した。

【経済】

1 2018年1月から9月までのマグネシウム生産量増加

2018年1月から9月までのマグネシウムの生産量は, ンジョレ(Ndjole)及びフランスビルの鉱脈における好調な業績により, 9.6%増の3.96百万トン記録した。また, マグネシウム関連の売上高は, マグネシウム鉱等の販売により, 2017年9月末比で4.2%増の5385億セーファを記録した。(19日付UN)

2 COMILOG社による2018年の鉱業分野に関する経済状況分析

1日, COMILOG社による2018年の鉱業分野に関する経済状況分析によると, 鉱業分野のあらゆる部門において上昇傾向にあり, 鉱業分野の業績は歴史的レベルに到達した, 金属工学コンビナートのケイ素・マグネシウム生産は倍増し, マグネシウムの生産量も50%増した由。(5日付UN)

3 アフリカ開発銀行, 国立デジタルインフラ・周波数庁(Anif)へ約4.56億セーファ供与

アフリカ開発銀行は, Anifに対し, 約4.56億セーファの追加供与を行った。同支援により, 政府間ポータルサイトの創設や行政府向けのデジタル給与システム等が可能になる。(10日付UN)

4 機材・インフラ・鉱山省と仏エラメット社による協議

6日, 機材・インフラ・鉱山省と仏エラメット社は, ガボンとエラメット社の協力関係の強化, 鉱業セクターへの投資に関連したガボン法制の進展に対応する制度の採択等のた

め、アドホックの作業委員会を開催した。(8日付UN)

5 ガボン政府会計担当官、2017年に6000億セーファ以上損失

会計検査院の最新報告書によると、2017年、証拠書類の欠如、不良債権の承認等により、ガボン政府の会計担当官は6000億セーファ以上損失させた由。

6 ガボン政府の累積債務が5兆セーファに近付く

ガボンの累積債務は、2018年9月末時点で4兆9769億セーファを記録した。右は主に、国内債務増(59.9%)及び対外債務増(7.8%)による。

7 2018年1月から9月までの石油産出量は減少も、輸出量は増加

2018年1月から9月までのガボン国内における石油産出量は、機材のメンテナンスによる作業の停止、開発プロジェクトの遅延等により、10.2%減少し、7.1百万メートル・トン記録した。一方、同時期の石油輸出量は、インドやインドネシアといった国々からの注文増、英国や韓国といった国々からの石油購入の再開等により、2017年同時期と比較して16.9%増を記録した。

8 IMF融資第3期支払い(9,900万ドルの融資)の承認

19日、IMFは、同日に開催されたIMF理事会において「信用拡大メカニズム」の第3回レビューを終え、対ガボン9,900万ドルの融資を承認した。(21日付UN)

9 2018年最初の9ヶ月間の貿易収支が黒字を記録

2018年最初の9ヶ月間の貿易収支は昨年同時期比で22%増加し、黒字を記録した。また、同時期の輸入額は1%増の9212億セーファ、石油セクターによる輸出増に牽引された同時期の輸出額は昨年同時期比で12.3%増を記録した。(28日付UN)

出典:PR(大統領府公式HP),UN(ユニオン紙),GM(ガボン・マタン紙),GN(ガボン・ニュース電子版ニュース),AFP,GA(Gabonactu.com),GR(ガボン・レビュー電子版ニュース),LG(ル・ガボン電子版ニュース),GE(ガボン・エコ電子版ニュース),AFP(フランス通信社),GL(ガボンリール電子版ニュース),AFI(アフリカ・エネルギー・インテリジェンス),LP(LOUP 紙),EN(エコー・ノール紙),GMT(Gabonmediatime)